

題 材 名	安全で快適な住まい方を工夫しよう		
内容・項目	C－(2)イ		
指導時間	8時間		
題材のねらい (題材の特徴)	住環境を快適にする工夫として、心地よさに加え、安全・安心の視点で家族のだれもが安心して住むことができる室内環境の整備に着目した。自分の住まいの問題点に対する具体的な改善策を考える活動を通して、よりよい室内環境の整備のために自分なりの方法を見つけ、家庭での実践につなげることができるようにした。生徒の主体的な学びを進める手段として、調査活動やまとめの活動、さらに、得た情報を伝え合う活動を取り入れた。		
指導の流れ (展開の工夫)	時 間	指導項目	主な指導内容
	2時間	住まいのはたらき	・住まいがもつ機能について一斉に確認するとともに、住まいの役割や、生活行為と住空間のかかわりを理解させる。
	1時間	地域に合わせた住まいと住み方	・日本各地の住まいとその特徴について知り、それぞれの気候に合わせた住まいや住み方について理解を深めさせる。
	1時間	健康で心地よく住むために	・学校や自宅の室内環境について、心地よさや安全の視点から自分の住まいの実態調査を行ったり、家の人への聞き取り調査を行ったりして、自分の住まいの問題点を把握させ、学習課題を設定させる。(かかわり)
	1時間	安全な住まい方	・住まいの中の危険箇所を分類・確認し、家族全員が安心して生活できるようにするための改善策を考え、発表し合うことによって、家庭内で安全に住むための室内環境の条件を理解させる。
	3時間	よりよい住まいと住み方	・自分の住まいの問題点を解決するために、住まいをよりよくするための方法を調べ、レポートにまとめさせる。調べて得た情報を交換し合い、家庭での実践に生かせるようにする。 (学ぶエネルギー・意思決定能力)
準備・材料等	教科書 ワークシート 視聴覚教材 震災被害の写真(朝日新聞社) プロジェクター 掲示資料		